瑠璃草
第79巻　第3号
年４回発行
社会福祉法人 慈生会
〒165-0022
東京都中野区江古田３-15-２
ＴＥＬ ０３－３３８７－５５６７
http://www.jiseikai.jp
振替口座　ベタニアの家
００１７０－６－１５３１７

『感 謝』

濱邊　稔

「子供たちの声がしない学校って、寂しいですね。」

時折、子供の声がすると思い外を眺めると、ナザレットの家（乳児院）から連れられてきた小さな子らが、園庭の遊具を使って楽し気に遊んでいる声でした。

二〇二〇年三月から、東星学園内から園児・児童・生徒の声はもちろんのこと、教職員もほとんどが、自宅にこもらざるを得ない状況に陥りました。幼稚園・小学校・高等学校では、何とか教職員と卒業生・保護者のみの縮小された卒業式は実施することが出来たものの、新年度からの入園式・入学式は、五月半ばの段階では執り行うことができていない状況です。どの施設でも同じような混乱の中での新年度のスタートとなったことでしょう。

さて唐突ですが、私自身の紹介をさせてください。私は、長崎県の東シナ海に浮かぶ、五島列島の久賀島という所で、十人兄弟の六番目として生まれました。東星学園に入職する前は、サレジオ会の司祭になることを希望して、中学一年生から大学卒業後二年目まで勉強しておりました。しかし、信仰が弱かったことが原因だったのか、司祭職への召命に確信が持てなかったため、大切に育てていただいた修道会を出、現在働いている東星学園に教員としてお世話になることになったのです。（当時のサレジオ修道会管区長であられた溝部脩神父に直接この学校を紹介して頂いたことがきっかけであります。）勢いで修道会を出たものの、次の働き口で困っていたので、神父様には大変感謝しております。

東星学園に勤めて二十九年目になりますが、長い間、数学の教員として一生懸命教鞭をとってきました。一緒に働く先生方や職員、そして生徒からは多くのものを教えていただきました。教員としての在り様や、教科学習の大切さはもちろんのこと、人とのかかわりの大切さです。しかしどのような表現を使えばこの内容がうまく生徒に伝わり理解してもらえるのか、悩みながら働くことも多かったです。その結果、さらなる成長をさせていただきました。同僚の教職員や生徒たちに感謝です。現在私はここにきて新しい挑戦をさせていただいております。二年前から教員という立場を離れ、事務関係の仕事をということで、現在事務長として働かせていただいております。右も左も分からない仕事を本当に自分ができるのだろうかと悩みましたが、何とかなるでしょうと引き受けることにしたのです。幸いにも前事務長が、いろいろな必要書類等を資料やデータで残しておいてくださる方だったので、困ったときは、それを参考にできたことは、安心材料であったし、非常に助かっております。ありがたいことです。またこんな私ですから、多くの人がフォローしてくださってます。周りの人にも感謝です。

私自身の簡単な紹介は以上にしますが、このように、自分自身のことや東星学園とのかかわりを考えていくと、不思議だなと感じます。自分が何かすごいことをしてきたわけでもなく、どちらかというと、人に迷惑ばかりかけてきたことが多いです。ですからいつも「こんな調子でよいのか」「もっと人のために何かしなくてよいのか」などと思い悩むこともあります。にもかかわらず時々、人の出来ていないこと、だらしないことをあげつらって、愚痴を言っている自分もあります。情けないことです。人は弱い存在であり、普段の生活が、毎日楽しいこと嬉しいことばかりで構成されているとは限らないことは、承知しております。こんな時は、人に対しての思いやりや、寛容さ、有難うと思う感謝の気持ちを持ててないのでしょう。また、今回の感染症での自粛生活の中でも感じます。それは、人が人を信じず、見えないものの恐怖におびえるあまり、自分のことは棚に上げ人の弱点ばかりを見、嫌な言葉で人を傷つけてしまうことがあることです。気を付けなければ、私もそうなります。そういう時、何が悪いのかを客観的にみることがどうしてできないのでしょうか。やはり人にとって、いや私にとって人を許すこと、理解することは、大変難しいことなのでしょう。しかしとても大切なことです。これからは、もっと当たり前であることに感謝する心を持つ必要があるし、お互い様の精神で人に優しく、自分にも優しくできる自分でありたいと願うばかりです。

こんなことを考えていると、今回の混乱を招いた緊急事態にもいつか感謝することができるのではないでしょうか。その様な自分でありたいものです。

（東星学園　事務長）

ご復活されたイエス様とフロジャク神父様と共に

杉山　智和

那須の山にあるマ・メゾン光星にも新型コロナウィルスの影響が現れてきています。ご利用者が心待ちにしている春の帰省、様々なイベントの中止等により、ご利用者の皆様も心なしか寂しそうな様子です。

ですが、私たちの今の状況は、フロジャク神父様が戦争の傷跡と結核で日本中が苦しむ中、多くの方々を迎え入れ支えていった状況に重なると思います。

このような状況で、私達が困難に直面している方々に何ができるのか、そう考えた時に、カトリック施設において神さまのお恵みを沢山いただいている私達が、「ソーシャルディスタンス(今年の流行語になりそうですね)」を守りつつ行える活動が「祈り」に立ち返る事でした。

四月十四日は、カトリックにとってクリスマスと同じく大切なお祝いの日である復活祭(イースター)を祝う光星ミサが行われるはずでした。

各部署では復活ミサに向け、卵の殻の下に皆さんの写真を貼り、四十日かけてお互いの思いやりや優しさを確かめながら、その殻を剥がしてきました。四週にわたってのパワーポイント映像による読み聞かせも行ってきました。結果的にコロナの影響でミサが中止になりましたが、ミサに代わる「祈りの時間」を施設全体で行うことにしました。

皆で集まることは出来なくても、館内放送を使って感染症の影響で苦しんでいる方々の為に、各部署の代表のご利用者が共同祈願を捧げます。「新型コロナで苦しんでいる方々の為」、「治療をしてくれている方々の為」、「私たち一人一人が、日々を大切に過ごせるように」、「コロナの影響で仕事や生活に不安を抱える人々の為」の祈りをゆっくりと丁寧に読み上げてくださり、皆で心を一つにして『ミニロザリオの祈り』を行うことができました。

ご利用者の祈りの言葉、一言一言にグッとくるものがありました。

ご復活されたイエス様と共に、自分たちにできる事を、一日一日を大切にして過ごしながら皆で支え合っていきたいと思います。皆様の上にも神様のお恵みがありますように。

（マ・メゾン光星事務副主任）

「こもれびホーム」について

小谷野　泰

「こもれびホーム」は児童養護施設の卒園生を支援するところです。

二〇一三年三月に、うつ状態の卒園生の為に、一人のベトレヘム学園の旧職員が、自費で小さなアパートを借りたのが始まりです。昨年の一月には、学園の近くの古い一軒家に引っ越して来ました。

多い月には、卒園生、その家族、旧職員が、延べで二七人も顔を出してくれたこともありました。昨年一月に、卒園生が出産して、家族支援の為に、入浴介助や夕食作りに約一ヵ月間通い続けたりもしました。

年に二回「こもれび通信」を発行して、卒園生、旧職員のネットワーク作りもしています。

最近では、コロナの影響で集まることが出来ないので、お米や食料品、お菓子など必要なものを送ったり、持って行ったりしています。仕事を失う卒園生、給料が激減する卒園生が出始めています。大変な状況になっています。

これまで、個人の方や団体の方、また昨年のベタニアの家チャリティーコンサートの収益金などのご支援のお陰で何とか続けることが出来ました。心から感謝しています。これからもご支援をよろしくお願いいたします。

（こもれびホーム）

こもれびホーム

ベタニアの家　永年勤続表彰者

（三十年表彰）

ナザレットの家　青柳　一恵
聖ヨゼフ老人ホーム　浅野　敏

（二十年表彰）

ベタニアホーム　越川　明則
宝野区北ベタニア訪看護ステーション　藤野　豊子
ナザレットの家　井坂　紘子
ベトレヘム学園　金子　祐子
ベトレヘム学園　山本　浩代
マ・メゾン光星　津田　正和

（十年表彰）

徳田保育園　清水香菜子
ナザレットの家　小倉　ミワ
慈生会中野ケアプランセンター　大場　秀子
ベタニアヘルパーステーション　黒岩ひとみ
聖家族ホーム　島田　雅彦
聖ヨゼフ老人ホーム　霜田　洋平
聖ヨゼフ老人ホーム　片桐ゆかり
聖ヨゼフ老人ホーム　小笠　一弘
ベトレヘムの園病院　富田まさ子
ベトレヘムの園病院　佐藤　正繁
マ・メゾン光星　植竹　裕三
マ・メゾン光星　大滝　浩二
マ・メゾン光星　鈴木はるか
マ・メゾン光星　江原　信二

新型コロナ禍を乗り越えたその先に

池谷　恵子

三密、ステイホーム、ソーシャルディスタンス、緊急事態宣言・・・初めて聞く言葉が日常に飛び交うようになり、オリンピック・パラリンピック史上初の東京五輪延期が決定になってから数か月が経ちました。

二月頃より新型コロナウィルスの世界規模で流行する危険性が騒がれ、ケアハウス慈しみの家も施設全体で臨時感染症委員会を毎週開催し、感染予防対策、日々の運営に関する対応などを検討するようになりました。

二月下旬頃から、手洗い・うがい・手指消毒・換気・マスク着用の徹底、面会・行事・クラブ活動・ボランティア活動の中止、不要不急の外出の自粛、毎日の共用部の消毒、食事は各居室で摂ることをお願いし、感染予防に努めました。厚生労働省や東京都からの通達を踏まえて、新型コロナウィルス感染症の特徴や症状、感染状況など情報を随時伝え関心を高めていただき、同時に感染の疑いや感染者発生時の対応など重要なお知らせは書面でお渡しし、分かりやすく周知できるようにしました。

月に一回、日々の生活に関わる事柄を入居者の皆さまと職員で話し合う場の懇談会も、密を避けるために中止となりましたので、少しでも安心して生活できるよう情報発信を随時行い、関わりが希薄にならないよう配慮しました。

外出自粛の巣ごもり生活での困りごとは買い物。訪問介護スタッフや職員が声かけ対応、ネット購入できる入居者の方が取りまとめ購入。自然に入居者・職員とで相談し協力体制を築くようになりました。

終わりの見えない状況の中で多くの不安があったと思いますが、入居者の皆さまが外出の自粛、毎日の共用部の消毒、マスク不足解消のための布製マスク作り、敷地内散歩や屋上での体操など、感染予防に対する意識を高め、自発的に行動をとってくださったこと、ご理解・ご協力に感謝するしかありません。

新型コロナ禍の収束の先には、最先端技術の導入の検討はもとより（オンライン面会・介護ロボットなど）、治療薬やワクチンが開発されていない未知のウィルスと、新しい生活様式、新しい世界でともに生活していくことを受け入れる柔軟性、また今後起こり得るかもしれない災害などの有事に備えて環境・物品の整備、皆で協力して乗り越える団結力・互いを思いやり、支え合う心が問われていると改めて感じました。

（ケアハウス慈しみの家 生活相談員）

社会福祉法人　慈生会　令和元年度　決算報告

理事会および評議員会で、令和元年度の決算が承認されましたので、その要旨を報告いたします。

令和元年度決算報告

法人全体の貸借対照表の要旨　（令和２年３月31日現在）　単位：千円

資産の部		負債・純資産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	2,112,045	流動負債	318,032
固定資産	6,729,344	固定負債	764,952
基本財産	3,611,170	負債合計	1,082,984
その他の固定資産	3,118,174	基本金	1,630,347
		国庫補助金特別積立金	1,521,630
		その他の積立金	2,148,047
		次期繰越活動収支差額	2,458,381
		純資産合計	7,758,405
資産の部合計	8,841,389	負債・純資産の部合計	8,841,389

資金収支計算書の要旨　（平成31年4月1日～令和２年3月31日）単位:千円

事業区分	収入	支出	差額
社会福祉事業区分	3,895,207	3,838,075	57,132
公益事業区分	188,671	192,885	−9,214
収益事業区分	0	0	0

事業活動計算書の要旨　（平成31年4月1日～令和２年3月31日）単位:千円

事業区分	収入	支出	差額
社会福祉事業区分	3,838,787	3,613,818	224,969
公益事業区分	165,805	176,946	−11,141
収益事業区分	0	0	0

財産目録の要旨　（令和 2年3月31日現在）　単位:千円

区分	金額
資産の部	8,841,389
基本財産土地	(592,717)
基本財産建物	(3,018,453)
負債の部	1,082,984
差引純資産	7,758,405

ベタニアの家

七月行事予定

1日☆福者ペトロ岐部司祭と一八七殉教者
1日　聖ヨゼフホーム、開設記念日
2日　ベタニア宣教センター主催
聖書講座「苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生む①」　天本昭好神父
4日　東星学園　幼稚園　入園説明会
5日　ベタニア宣教センター主催
「聖歌の集い」　塩田　泉神父
11日　東星学園　小学校　学校説明会
14日　マ・メゾン光星開設記念ミサ
16・31日　東星学園　中学・高校
イブニング学校説明会
18日　徳田保育園　夏まつり
22日　ベトレヘムの園病院
公開健康講座ビタミンシリーズ
22日　聖ヨゼフホーム　納涼祭
23日《海の日》
24日《スポーツの日》
28～30日　東星学園　中学・高校
被災地ボランティア
29日　聖家族ホーム　納涼祭

八月行事予定

6日☆主の変容
6日～15日☆日本カトリック
平和旬間
10日《山の日》
13日　ベトレヘムの園病院
聖母被昇天の祈りの集い
15日☆聖母の被昇天
20日　ベタニア宣教センター主催
聖書講座「苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生む②」　天本昭好神父
21日　ベタニアホーム　納涼大会

九月行事予定

1～10／4日☆「すべてのいのちを守るための月間」
6日☆被造物を大切にする
世界祈願日
11日　二代目理事長
ミルサン神父様　命日
12日　東星学園
幼稚園　入園説明会
小学校　学校説明会
14日☆十字架称賛
16日　慈生会中堅の心構え研修
指導　谷崎新一郎神父
16日　ベトレヘムの園病院
公開健康講座　院長特別講話
19日　聖家族・聖ヨゼフホーム
敬老の集い
19日　徳田保育園　運動会
21日《敬老の日》
21日　ベタニアホーム　敬老の集い
22日《秋分の日》
22日　東星学園　中学・高校
学校説明会
24～25日　慈生会　職員研修
キリストの心に触れる
パートⅡ
指導　豊島　治神父
27日☆世界難民移住移動者の日

訃報

シスターファリチア　丸山　いしい

一九二二年生
二〇五七年
二〇二〇年

歴
八月九日
十月十七日
四月十五日

立誓願
帰天

ベタニア修道女会

バザーのお知らせ（予定）

『那須地区　光星祭』
開催日　令和二年十月四日（日）
時　間　午前十時～午後二時
場　所　栃木県那須郡那須町大字豊原乙一一八九（マ・メゾン光星）
主　催　光星祭実行委員会
（0287―77―1013）

『中野地区　ふれあいバザー』
開催日　令和二年十月十八日(日)
時　間　午前十一～午後二時
場　所　慈生会　中野地区
主　催　ふれあいバザー実行委員会
（03―3387―5567）

『清瀬地区　ふれあいバザー
どんぐり祭・健康まつり』
開催日　令和二年十一月三日(火)
時　間　午前十時～午後二時
場　所　慈生会清瀬地区
主　催　ふれあいバザー実行委員会
（042―491―2528）
どんぐり祭実行委員会
（042―491―2529）
健康まつり実行委員会
（042―491―2525）

※各行事やバザーの予定は、新型コロナウイルスの流行状況等によって中止や延期、内容の変更の可能性があります。

お知らせ
令和二年より、「ベタニアの家」へ頂いたご寄付は、寄付金控除の対象となりません。

編集後記

本文の中で池谷相談員からケアハウスの新型コロナウイルス感染症対応について、詳しく説明がありましたが、緊急事態宣言解除後は、外出等は少し緩和された様子です。一方、ホームの方は、ご家族の面会の中止は継続し、ご家族面会はテレビ電話（オンライン面会）を活用して行っています。面会されたご家族は変わりない姿が見られ良かった、と喜ばれていますが、ご本人は「…」実感がわかないようです。今はただ、ただ、元のベタニアホームに戻ることを祈るばかりです。（中村　英男）

この度、瑠璃草の編集委員となりました。これから更に清瀬地区のことも、たくさん知っていただけるようにしたいと考えております。宜しくお願い致します。

現在ベトレヘム学園の子どもたちは学校も休校、外出も自粛ですが毎日、限られたスペースの中で工夫して遊んでいます。早く学校の友達と遊びまわり、好きなところに外出できる日を待ちわびています。（関　広宣）

ベタニアの家創立記念日に行うミサは中止、永年勤続者表彰はやむなく各施設訪問授与となりました。修道会では五月十日～六月二十五日まで各施設や病院で働く職員方のため、特に永年勤続表彰される二十二名の方のために全会員が時と心を合わせ祈っておりました。また会内ではベタニアの家の草創期のデジタル化アルバムを回覧。若き日の溌剌とした創立者や先輩シスター・職員さん方から「恐れず今をしっかり生き、次世代にベタニアのバトンを」と励まされた思いがしました。（Sr中野　利恵）